





そのまえ。



どうしたの？



さとり様あー
そつたの...

そう...



その報告はしなくても
良いと言ったはずですが…



あー…



えー…



言えない…
要めて
撫でて欲しいから
だなんて言えない…

聞こえているけれど…



お隣



まったくこの子は…



パタパタパタパ





あ…でもですね…



…地上は楽しかったかしら？



ええ とも



パトロール中にこいし様を見かけたんでここまで護衛して差し上げたんですよ

ただいま

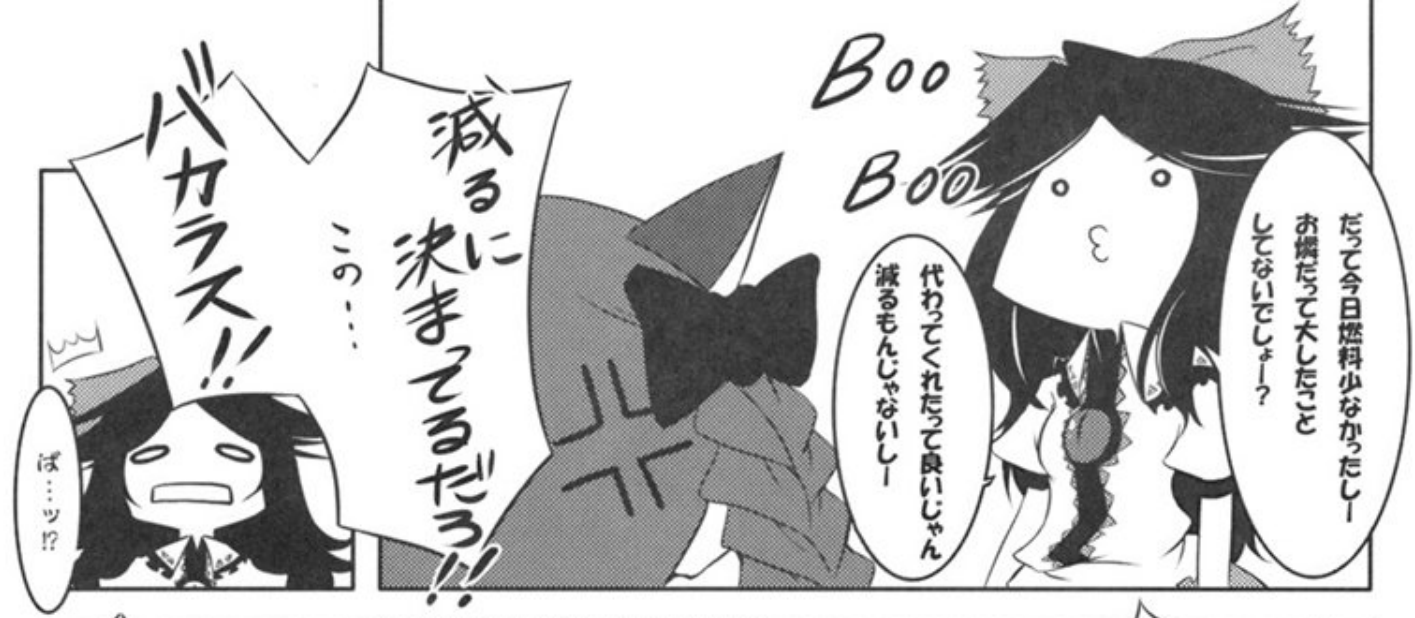
…気付かなかった





POM



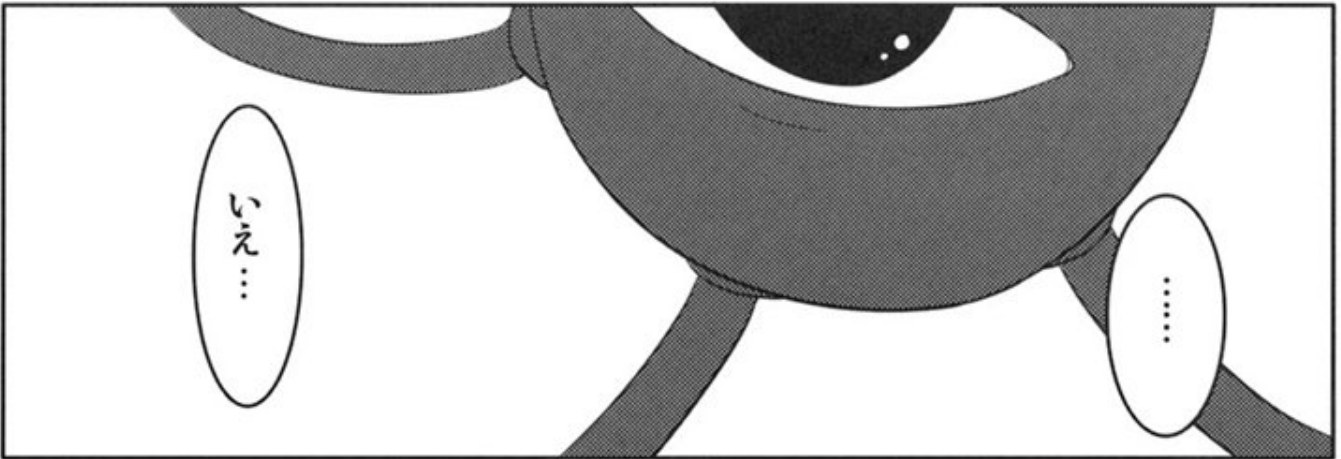




ほたん...

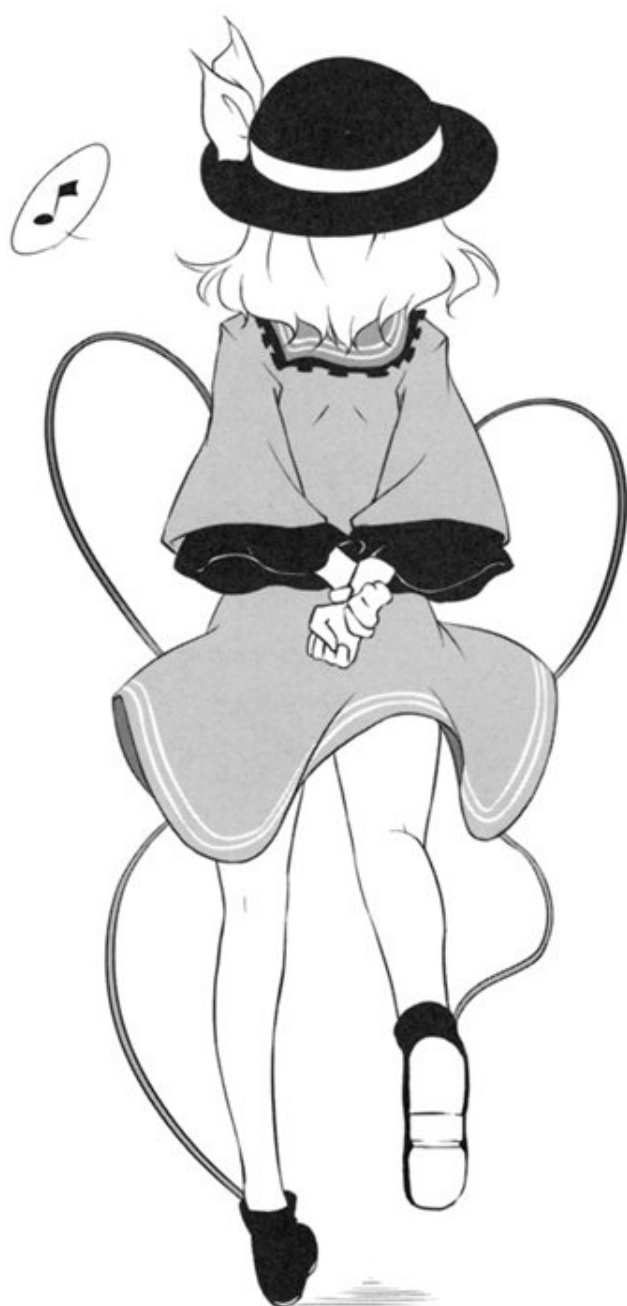


...さとり様?



ふん...

.....



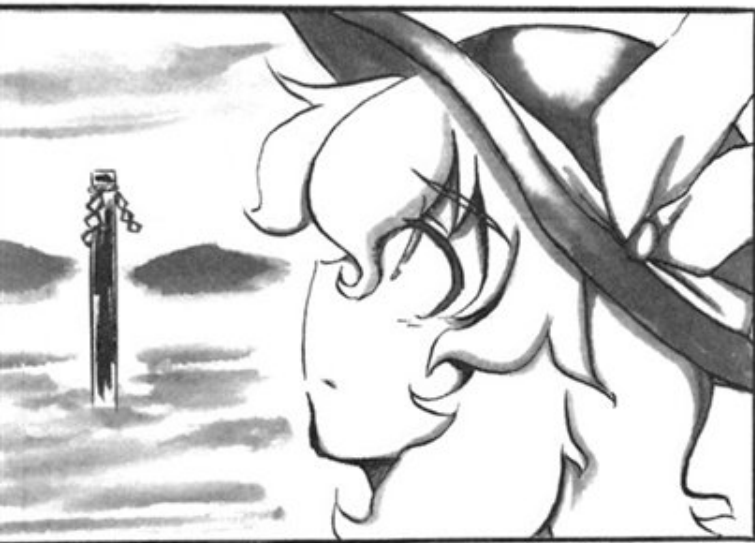
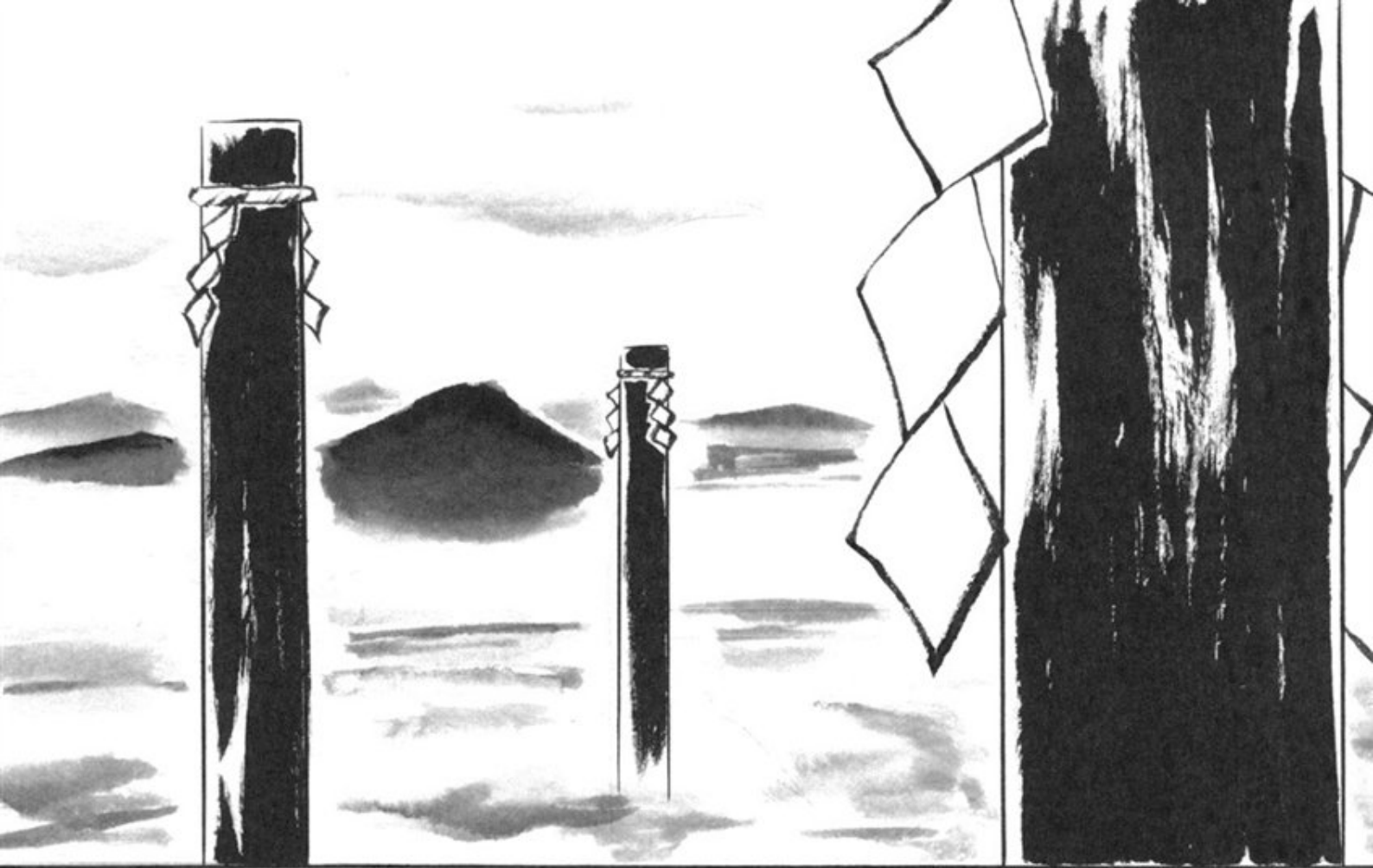
なんでもないわ



ところ
むすび
び

それから。







あ……

早苗ちゃん…

ええ

…そんなカオしてた？

今日はずっと元気がない感じがします

……



お姉ちゃん達が
仲良くしてるのは
すごくうれしいのに



…何だかね

地麗殿かづらに帰ると
へんな気持ちに
なるの



なんかモヤモヤした
気持ちになるの





私には

すっ

こいしさんが『寂しいよ』
って言っているように
聞こえますよ

…でもね
こいしさん





貴女のお姉さんも
同じ事を思っている
かもしれませんよ？



だって
家族ですもの

もう少し
自分を出して

お姉さんとお話してみるのも
良いんじゃないですか？

自分を出して…
かあ

おお!?

ビクッ

バ
ッ
ッ
ッ
ッ





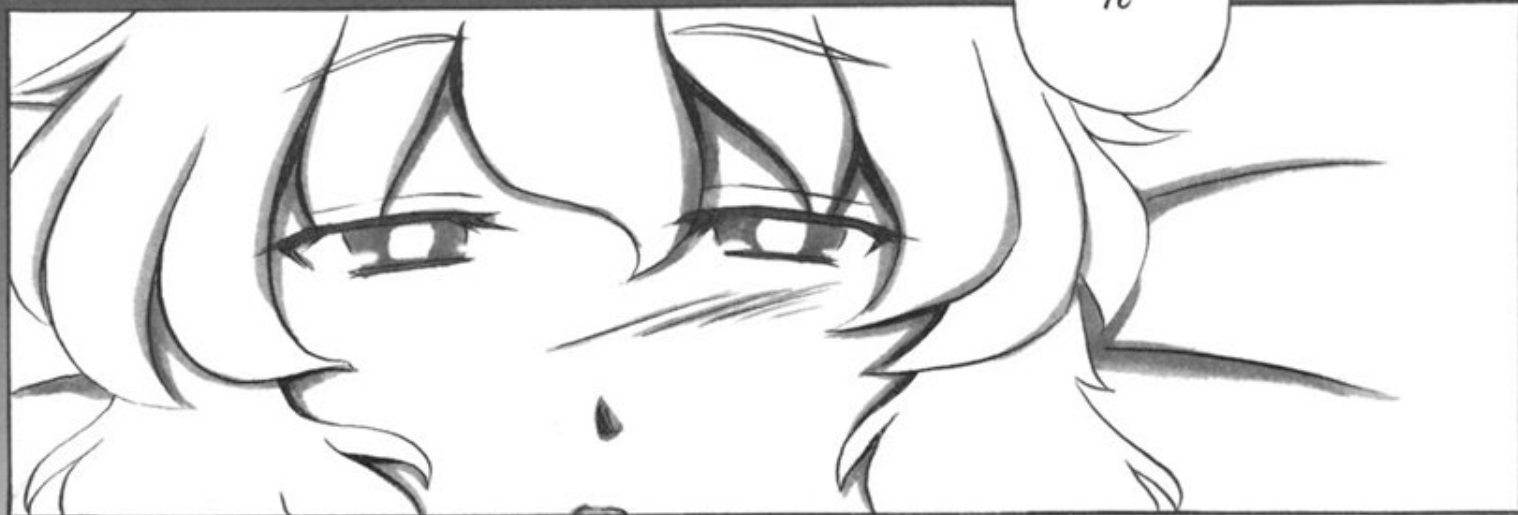
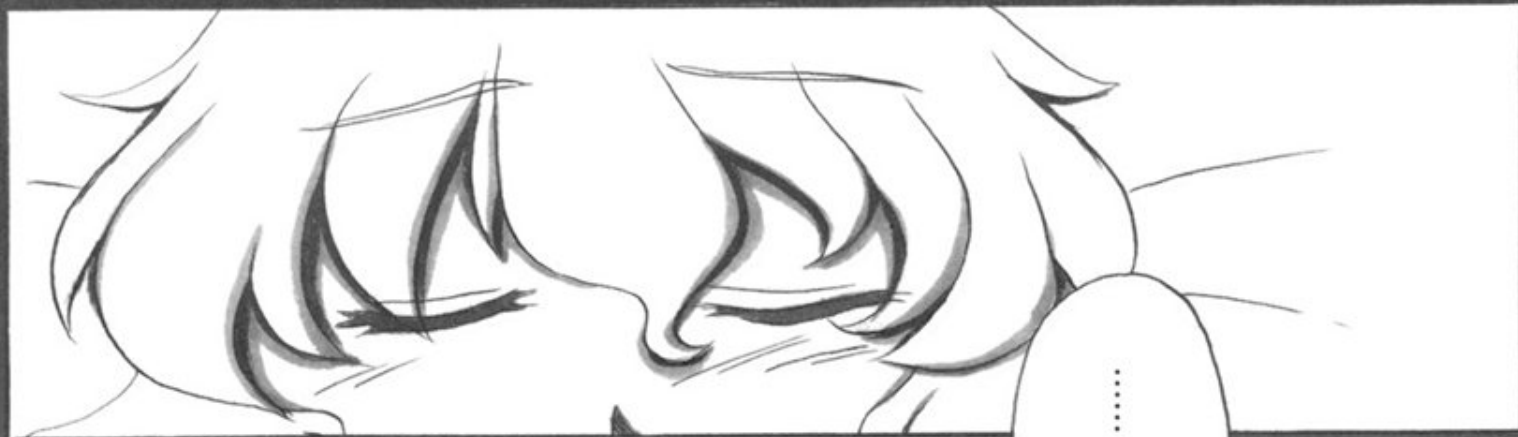
明日になったら――

お姉ちゃんと
話をしてみよう……

ところ
おろ
び

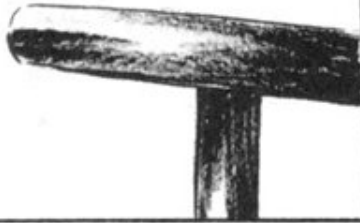


そのあと。



ぽっん...

...あれ？



...


...みんな？



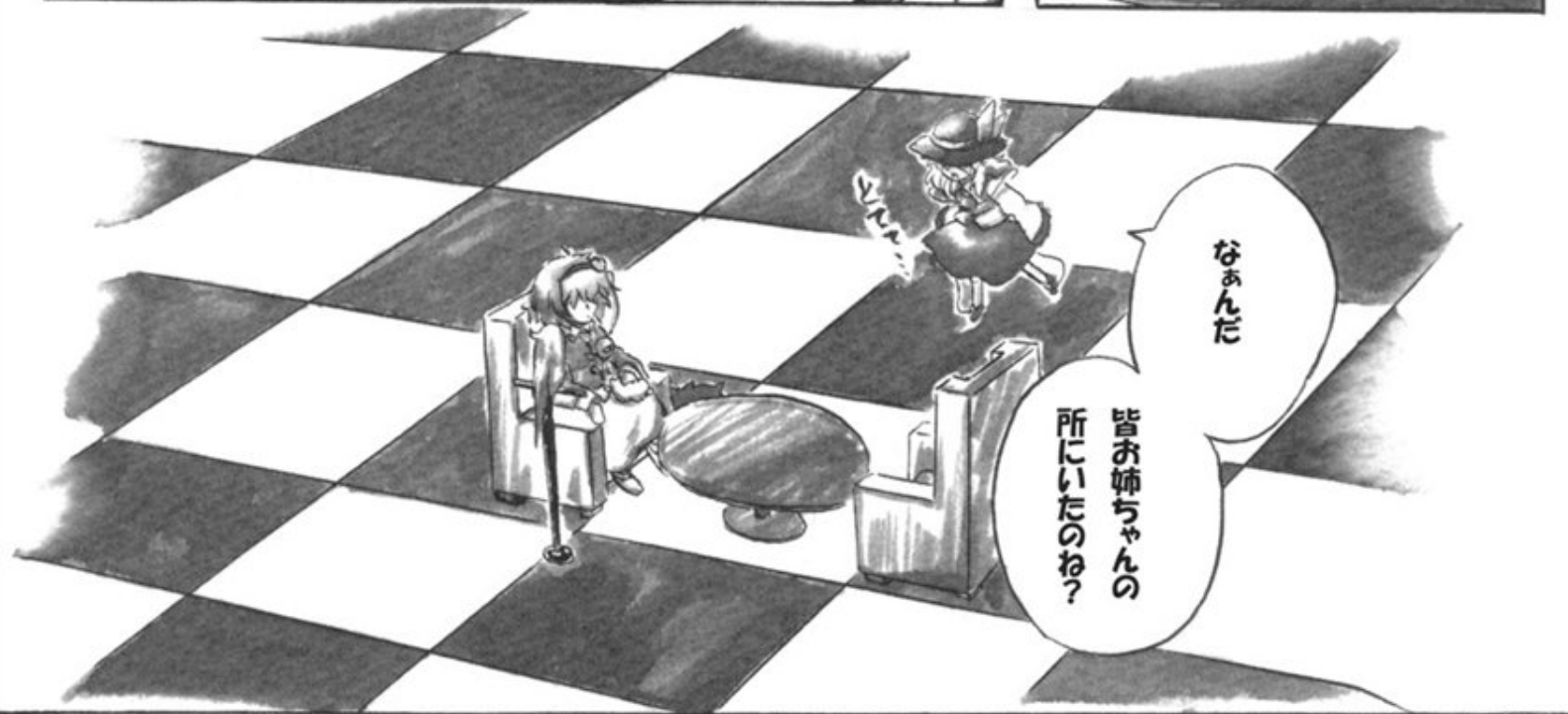
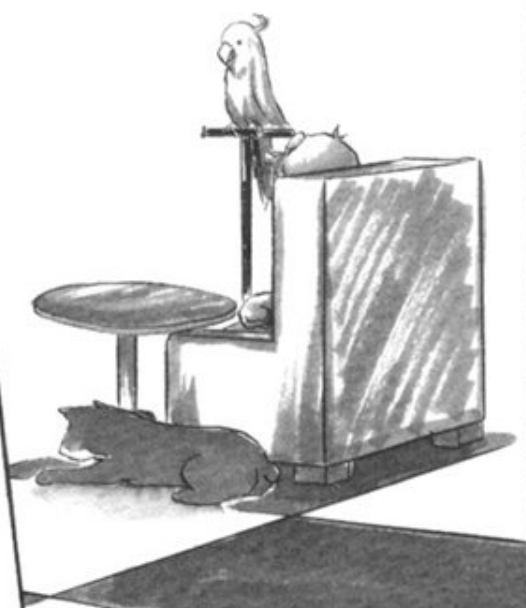
おい

みんなー？

お姉ちゃんなら
何か知ってる
かしら



おっかしーなー…
昨日の晩も一緒に
寝てたはずなんだけど…





キ





わからないの？

じゅわ...

こ...れ...何？
なんでみんな...

お...
おはよ...

...おはよう
良い朝ねこいし



貴女の傍は
もう嫌だと
言っているわ

この子達は



貴女は『見限られた』のよ



そ…そんな！
だって昨日まで…



はあ…

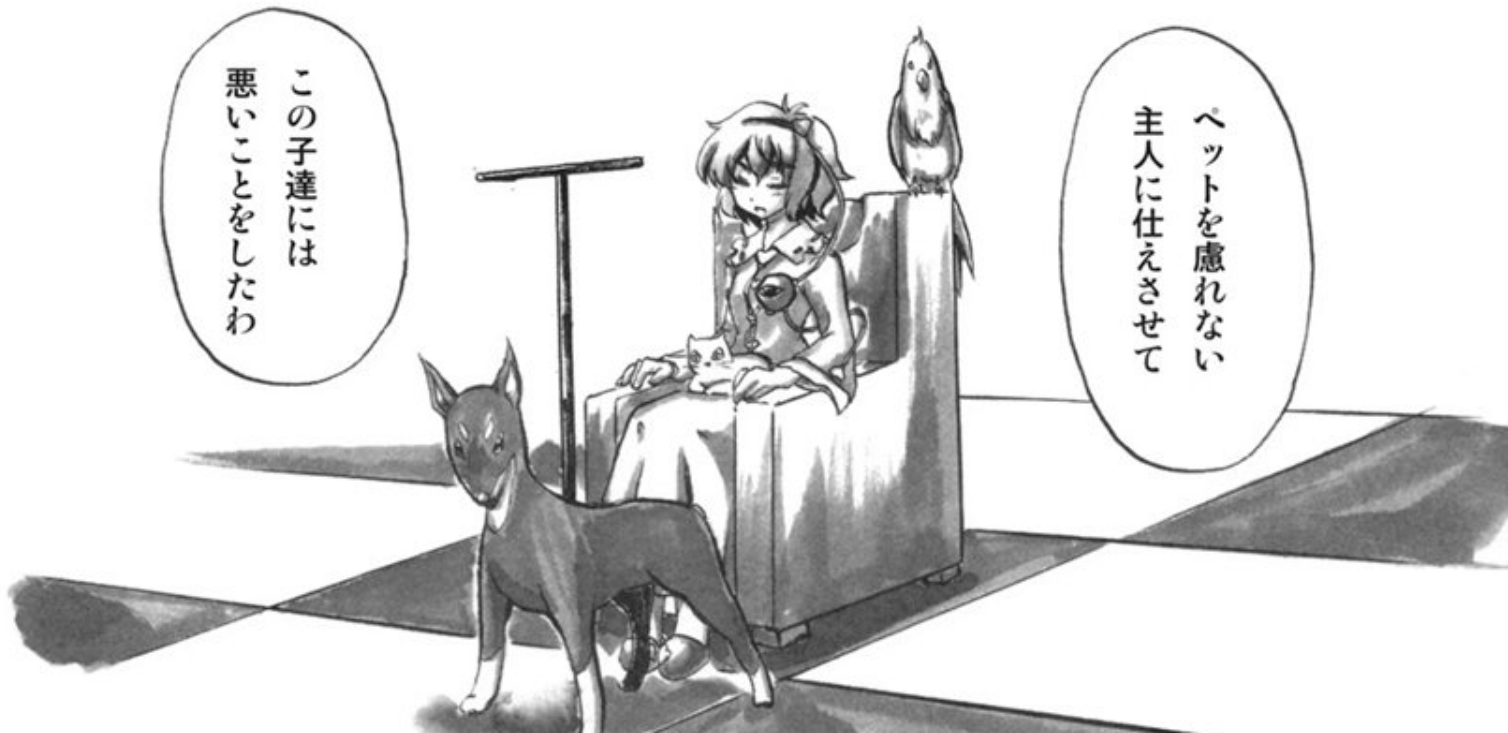
この子達と関わる事で
少しでも貴女が変われ
ればと思っていたの
だけれど…

見込み違いね



この子達には
悪いことをしたわ

ペットを慮れない
主人に仕えさせて





貴女には

無理だったのね

何よ…

結局お姉ちゃんの都合のいいようにしたいだけじゃない…

じゃあ貴女は今まで何をしていたの？


この子達に何かしてあげられたか？

この子達の気持ちを考えようとしたのかしら？


人間き悪いコト言うのね

与えられたモノを与えられるまま漫然と過ごして…

まるで子供ね




お姉ちゃんはこうなる事…
分かってたってワケ…？



わからないよ…

どうしてそんな
いじわるするの!?



そのザマでは
いつかこの子達を
壊してしまうわ

貴女にとっては
玩具が壊れた程度のコト
なのでしようけれど



……

ちからを
つかわなければ…

思ったのに!!

嫌われないで済むと

思った…のに……

……
そうやって
貴女は……



意固地になって
手を振り上げるの？



お姉ちゃんなんて……ッ

お姉ちゃん



自棄になった
貴女を見て

この子達は
どう感じると思うの？

あ...

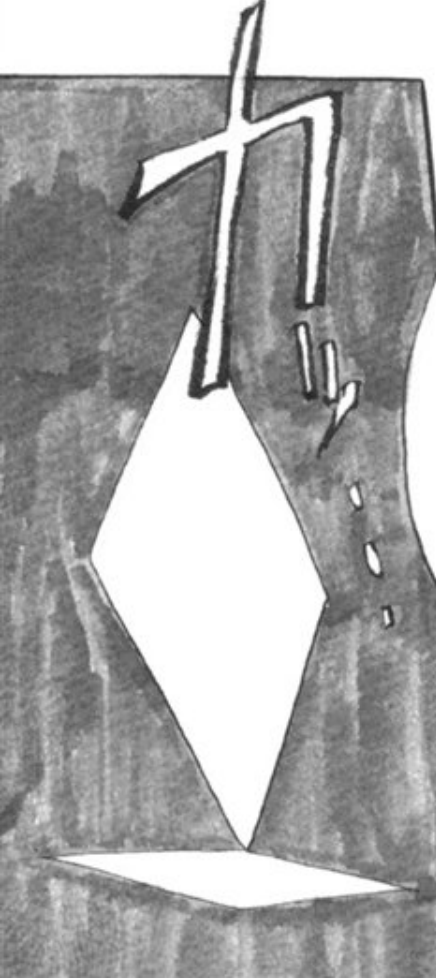


……



…そんなの

私には
わかりっこないよ






…おしえてよ…



どうしたらいいの？

私もう…誰にも
嫌われたくないよ…



ひとりぼっちは

嫌だよツ



.....

やっと聞こえたわ
貴女の心の声



ホントはね
私も怖かったの

貴女にまで本当に
嫌われてしまったから

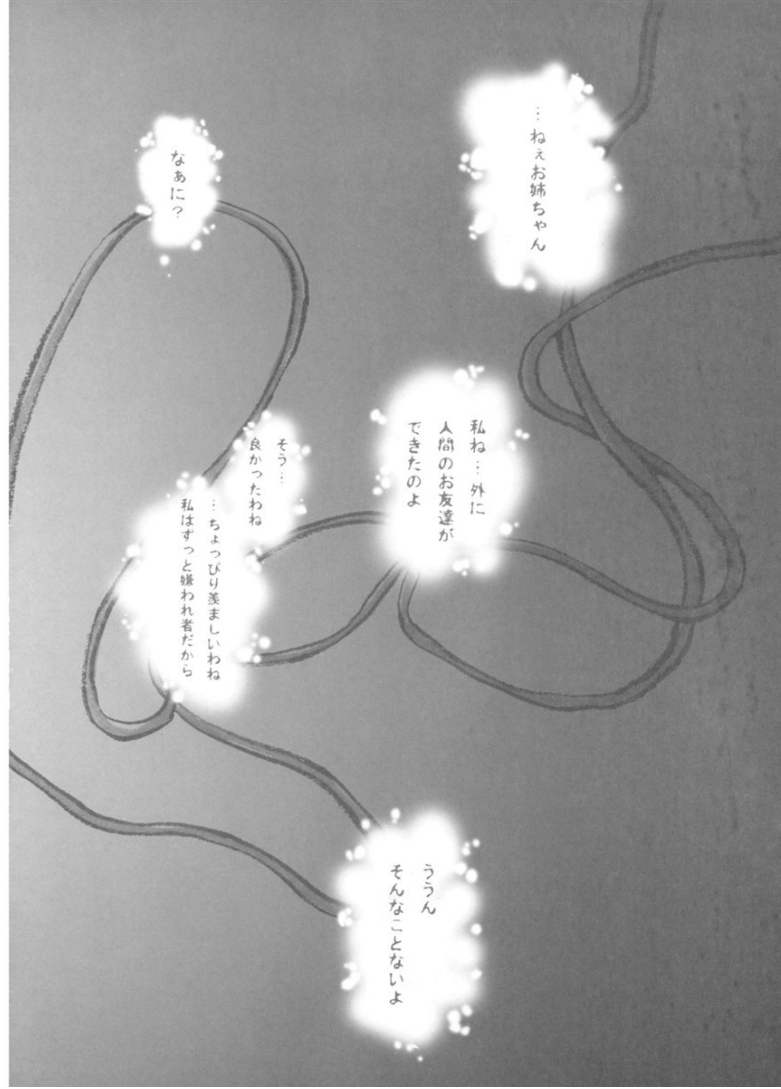
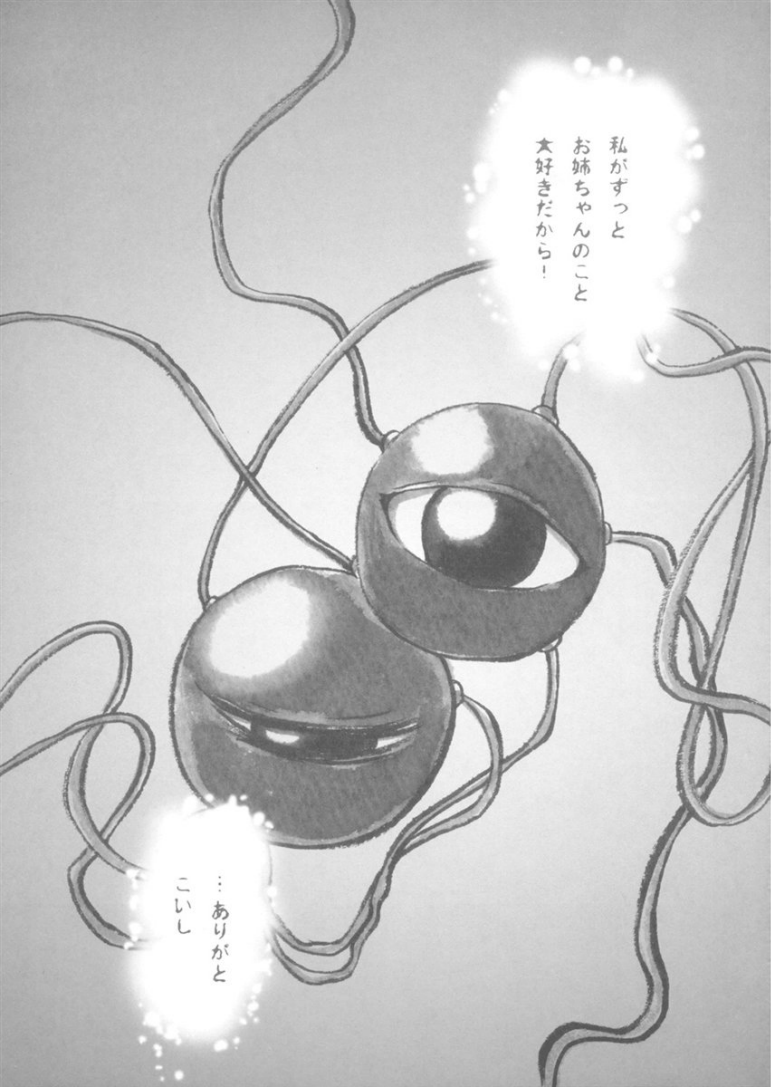
貴女は眼を
閉ざしたんじゃないか
って…

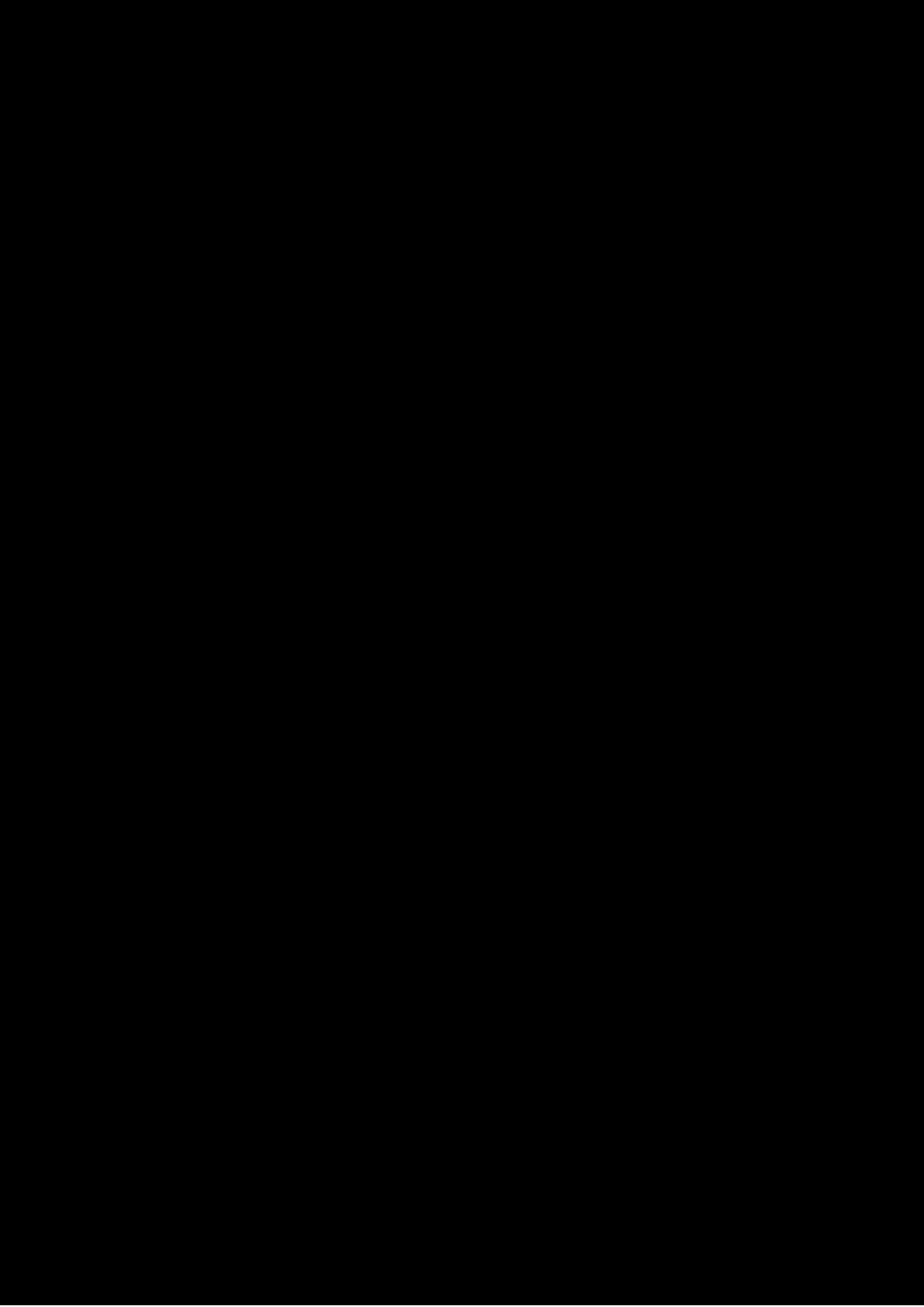






おね...え
ちゃん...





岡平：

.....
/, ' 3 \-つ
| 口 へつ
'-----''''''

平瀬：

お疲れ様でした

、ゞゞ'""'り;μ,
ゞ , '3 ≡
ミ ≡
≡ ≡
/り, , , ; ; ; ;、ゞ

お疲れ様でした

岡平：というわけで…ってどんな始まり方だよwwwwwww

平瀬：荒巻の進行でお送りします！www

岡平：えーと、主犯の岡平です。主に全体の話作りと本編のペン入れ塗り担当でしたー。

平瀬：平瀬です。主に表紙のペン入れ塗りと本編の下書きを担当させて頂きました。

岡平：お気付きの方もいらっしゃるかと思いますが、3つ目のパートでさとりさんの下書きしてたのは平瀬さんですね。ペン入れからが私の担当。

ああもう平瀬さんのさとりん可愛いなチクショウ！

平瀬：岡平さんのこいしちゃんには適いませんけどね！

私の筆が遅いばかりに岡平さんにはご迷惑をかけっぱなしですみませんでした…。

それにしても、今回のように完全にキャラで分けて二人の味で一本の漫画を描くというのは初めての体験だったので、すごく楽しかったです。

岡平：前回 Wi-Z GARAGE さんとやったときはキャラと背景という区分でしたが、今回はキャラごとという新たな試みでした。自分の中でもかなり挑戦の意味合いが強かったんですが、なんとか形にできてよかったですわw 実は表紙はこいしの下描きとタイトルだけ描いてあとはお任せしたんですが…。帰ってきたの見て鼻血吹きそうになったぜ！信じられるか！あのこいし俺の絵なんだぜ！？

平瀬：元が良いからですって！ こいしちゃんw

最初はどうかと思いましたが、古明地姉妹のテキスト等を読んで出てきた話がこの合同で形に出来て本当に良かったです。

最初は私が例大祭に行けるかどうか、ていう所からの始まりでしたしねw

岡平：一緒に例大祭出ようぜ！が本つくろうぜ！になってw

平瀬：折角だから面白い事しようぜ！で今回の合同になってw

岡平：こいしのペットの指定、犬ってだけだったのにしっかりお互いドーベルマンで一致してたのは笑ったなw

平瀬：最初はゴールデンレトリバーだったんですけど、

描き始める直前でドーベルマンに変更しようと思ったのは岡平さんから念を受け取ったんですねw

最後まで鳥をどうしようか悩みましたけど！w

岡平：ネームの時点ではなんかよくわかんないオウムだが尾長鳥だから感じてしたっけねw

平瀬：結局足して二で割った感じに落ち着きました・・・w

それにしても後半のスケジュールは

タイトでしたね……。いつもあれほど余裕を持って取りかからないと思うのに……。いやはや。

岡平：まさに同人道とはシグレイなり…

平瀬：やってくれた喃、謀ってくれた喃

岡平：さとりさあーん！こんな俺達を罵ってくださいーい！！

平瀬：こいしちゃん！俺達を無意識に罵ってくださいーい！！！！

何という紳士の対談 ……ふう

岡平：…ふう

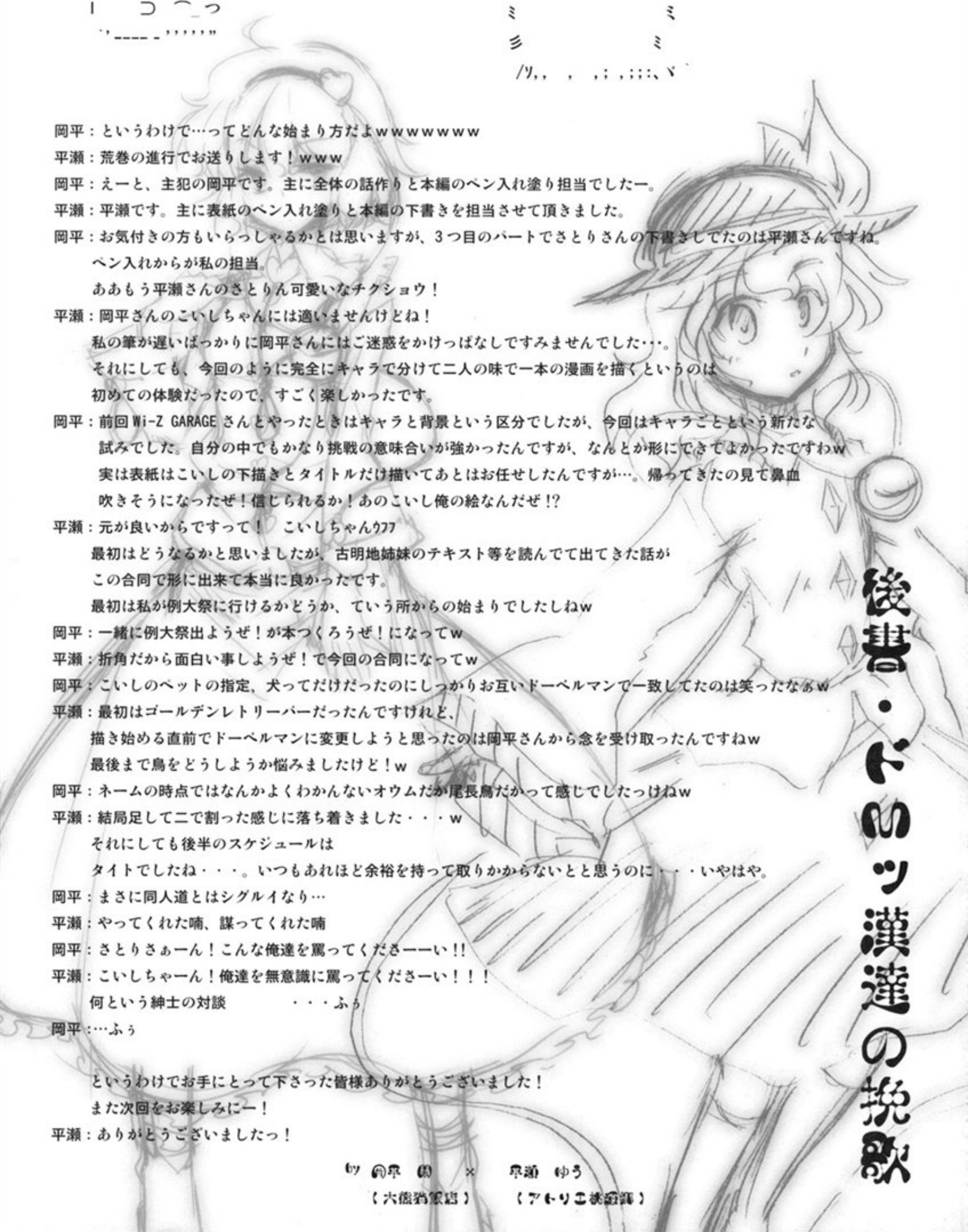
というわけでお手にとつて下さった皆様ありがとうございました！

また次回をお楽しみにー！

平瀬：ありがとうございましたっ！

by 岡平 園 × 平瀬 ゆう
(六徳酒家店) (アメリこ桃絵画)

後書・下書き・漢字の挽歌



奥付

原作 上海アリス幻楽団 『東方地麗殿』

<http://www16.big.or.jp/~zun/>

著 岡平 閑 × 平瀬 ゆう

大熊猫飯店 <http://panda.a.hanagumori.com/>

アトリエ桃源郷 <http://atelier.exblog.jp/>

発行 大熊猫飯店

2009.3/8 博麗神社例大祭6 初版

印刷 FREAK

<http://www.freak-net.jp/>

禁無断転写転載

この本は上海アリス幻楽団様原作のゲーム『東方地麗殿』を題材とした二次創作作品です。
ご本家とは一切関係ありませんので、直接上海アリス幻楽団様への質問等はなさいませんよう、お願いいたします。

